

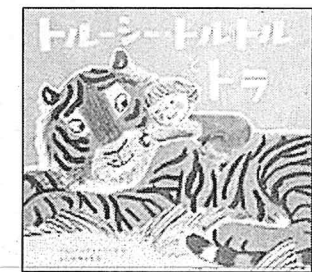
館長の
こども室の本棚から

4月。今年は春が早いのかと思っていたら、3月末から寒さが戻り梅の花に雪が積もり、桜のつぼみもブルブル震えてしまうような天気となりました。でも、新しい年度の始まり、元気出していきましょう。

そこで、今日は元気なお話を紹介します。『ライオンをかくすには』(ヘレン・スティーヴンズ作 さくまゆみこ訳 ブロンズ新社 2013年刊)です。作者は、イギリスのイラストレーターで絵本作家です。

初めてこの絵本を見た時、「なんだか懐かしいような絵だけど、見たことない絵本。いつの出版？」と調べましたところ、そんなに古い絵本ではありませんでした。舞台は、昔のイギリスになっているようです。

ある日、ライオンが帽子を買おうと思って、町にやってきました。ところが、町の人たちが捕まえようと追いかけてきますので、ライオンは驚いてかくれるところを探すうちに、アイリスの家の庭にあるおままごと用の小さなおうちに隠れます。でも、家は小さすぎて隠れら



「トルシー・トルトルとトラ」
ヘレン・スティーヴンズ作
ふしみみさを訳
BL出版 2016年



「ライオンをかくすには」
ヘレン・スティーヴンズ作
さくまゆみこ 訳
ブロンズ新社 2013年

れません。そんなライオンをみつけたアイリスは家の中に隠すのですが…。この後、様々な出来事があり、ライオンは、町の皆に認められて、アイリスと暮らすようになるというお話です。おもしろいけど、昔の映画で見たような、聞いたことのあるような、そんなお話です。

この絵本を、おはなし会で読んでみました。小学生から幼児まで10人ほどおりましたでしょうか。なんと、大きい子も小さい子も、みんなが楽しんでくれました。そこで、「続きを読みたい?」と聞いてみると、うんうんとみんながうなずいてくれるので『おばあちゃんからライオンをかくすには』(2015年刊)も読みました。やっぱり、大喜び。子どもが楽しめる絵本の王道を行く感じですよ。

子どもが好きなお話には、動物が出てくる。悪者はやっつけられる。大好きなおばあちゃんの登場。たくさんのおいしいそうな食べもの。そして、自分を投影できる主人公。紹介した絵本2冊を合わせると、全てが登場します。

元気なアイリスと優しいライオンに皆さんも出会ってください。



「おばあちゃんからライオンをかくすには」
ヘレン・スティーヴンズ作
さくまゆみこ 訳
ブロンズ新社 2015年

☆おはなしポケットメンバーおすすめ本☆

気分もうきうき、ポカポカと温かみを感じられる季節になりましたね。そんな春気分いっぱいの楽しいおはなしを紹介しましょう。

「ふしぎなバイオリン」 ケンティン・ブレイク さく たにかわ しゅんたろう やく 岩波書店 1976年

ある日、パトリックというわかものが町のろてんでバイオリンをかいまして。そのバイオリンを池のほとりでひきはじめると、とてもうつくしいひびきなので、なんと、さかながいけからとびだし空をとびまわります。またリンゴえんでひくと、リンゴのかわりに、木にナシやバナナやアイスクリームがみのり、さらに道であつたぶしょうヒゲのやどなしのためにひくと、またまたふしぎなことがおこります。バイオリンをひくパトリックは、ひとびと、どうぶつたちに よろこびとかんどうをあたえていきます。このあとどうなるか楽しみですね。



「かじってみたいな、お月さま」

F・アッシュ 作/絵 山口文生 評論社 1985年

お月さまを見ていたクマくんが友だちのコトリに「ぼくさ、お月さまをぱくつかじってみたいんだ…」からおはなしがはじまります。クマくんはお月さまを食べるために、ゆみとやを使ったがうまくいきません。「だめだろうとおもったよ」とコトリ。そこで、クマくんとコトリはロケットを作りはじめます。やがて秋になりコトリは冬になる前に南へとんでいき、ロケットづくりはクマくんだけとなった。冬になって、クマくんはねむたいのをがまんしてつくりつづけロケットはついにかんせい。このあとメルヘンチックなことがまっています。春にコトリがかえってきたときが楽しみですね。



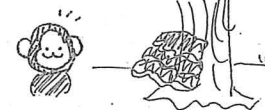
そんなことがおこるのか…?とってしまうのですが、その次に来る「ふふ」と感じる小さなわらいは、ほのぼのとした楽しい気分になれるものです。

ひょっとして何気ない日常生活の中にもこの小さな笑いがたくさんあるかも知れません。

— おはなしポケット しろくま —

てあそび"わらべうた やってみよう"

『さるのこしかけ』



※ さるのこしかけ
= 寝は春キノ。サルが登れるほどかさか 大きい。

- ① さるのこしかけ
- ② めたかけろ
- ③ めたかけろ



4歩あるく



クワッ



その場でしゃがみは立つ。おしをはずませて8回。



2人組で手をつなげてまわると歩きながら やつてもOK

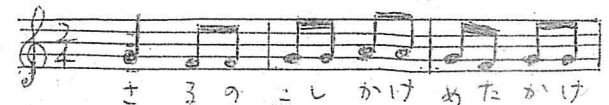


おおしいでできる!

赤ちゃんま ひざにのせて はずませてうたおう。



♪ ←うしろから支えて大人もいっしょにかるく体をゆさゆせて



さるのこしかけ めたかけ



ろ めたかけろ!

参考・引用文献：コダーイ芸術教育研究所 『新訂 わらべうたでおぼろ 年少編』 (明治図書)